

がん進展制御研究所外部評価シンポジウムを開催

2012年11月1日

10月31日（水）自然科学本館（図書館棟）1階大会議室において「金沢大学がん進展制御研究所外部評価シンポジウム」が「がん悪性進展克服のための標的分子研究と革新治療」と題して開催されました。

このシンポジウムは、がん進展制御研究所が4-5年に一度実施している外部評価の一環として開催されました。シンポジウムでは国立がん研究センター研究所・牛島俊和上席副所長、ならびに自治医科大学ゲノム機能研究部 間野博行教授に特別講演をいただきました。また、がん進展制御研究所からは、鈴木健之教授、高橋智聡教授、向田直史教授、矢野聖二教授から研究成果が紹介されました。

シンポジウムには、がん進展制御研究所をはじめ理工研究域、医薬保健研究域、学際科学実験センター、先端科学・イノベーション推進機構の教職員、自然科学研究科、医学系研究科、医薬保健学総合研究科の大学院生、理工学域、医薬保健学域の学生等約90名が参加し、活発な質疑応答や意見交換がありました。がんの基礎研究の成果が医薬・医療に生かされるスピードは近年格段にスピードアップされています。シンポジウムでは、がんの基礎研究からその応用や研究者の情熱に触れることができ、教職員、大学院生、学生にとっても大変有意義なものとなりました。

また、翌日の11月1日（木）には、がん進展制御研究所会議室において、5名の外部評価委員による「金沢大学がん進展制御研究所 外部評価委員会」が開催されました。がん進展制御研究所は平成22年7月に文部科学省より「がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点」として認定され、平成23年度から、共同研究拠点としての活動を進めています。外部評価委員会では共同研究拠点としての活動についても貴重なご意見やアドバイスを提供いただきました。



開会挨拶 向田所長



会場全体風景



鈴木 健之 教授



高橋 智聡 教授



特別講演 国立がん研究センター研究所 牛島 俊和 上席副所長



向田 直史 教授



矢野 聖二 教授



特別講演 自治医科大学ゲノム機能研究部 間野 博行 教授